

西村副大臣ぶら下がり概要

日時：平成 25 年 12 月 7 日（土）20:20～20:30 頃

場所：Shangri-La Hotel Singapore

【質疑応答】

（記者）初日が終わったが、年内妥結に向けて今日一日の手応えはどうか。

（副大臣）本日午後 2 時過ぎから閣僚による全体会合があり、全体の進め方の方針を決め、4 か国ずつ 3 つのグループに分かれてテーマごとに論点を絞っていく会合を進めた。

全体会合では、私からはまず、甘利大臣へのお見舞いの言葉を多くいただいたので、甘利大臣の言葉として、急な手術、入院でシンガポールに来ることができないが、ぜひ、年内妥結に向けてみんなで努力してほしい、自分自身（甘利大臣）もその思いを持っているということ、それを私（西村副大臣）に託したということをお伝え、皆さんのお気持ちにお応えした。その上で、私からは、これまでの各国の議論、様々な交渉官レベルでの積み重ねも踏まえて、年内妥結、特に高いレベルのものを作るということで、日本もそれを目指してやっていきたいと申し上げた。それは単なる物品の貿易だけでなく、知的財産、政府調達、国有企業、環境など、ルールについても高いレベルのものを作るということ、それは、バリで合意されたバランスの取れた 21 世紀型のものを作ることを私から強調し、この数日間努力しようということをお申し上げた。

少数国に分かれての会合では、私は法的・制度的事項を議論するグループに入った。ここでは、全体で色々な法的なこと、物事の定義や言葉の定義など様々な事柄を含めて議論をし、私自身にとっては、役所時代を思い出すような細かい議論であった。こうしたものは日本が得意であるので、いくつか建設的な提案をし、それが午後の全体会合に報告もされた。日本としては、一定の貢献をしていると思う。

併せて、メキシコ、ニュージーランド、カナダとバイの会合を行い、個々の交渉の内容は申し上げられないが、基本的に全体会合で方向性を私も申し上げたので、そうした方向でぜひこの数日間お互い努力しようとお話をした。

全体の印象として、精力的に各国とも動いており、全体会合でも意見が出された。ある意味熱意があるわけだが、隔たりはかなりあるので、夕方の全体会合において、「せっかく少数人数でやるので、同じこと言いあって対立点ばかり強調しても意味がないので、それを集約して、ぜひより中間的な案になるのであればそこに集約し、どうしても無理だとしても、2 つくらいの選択肢にまとめて、明後日の会合に上げようではないか」と申し上げた。みんなの気持ちも大体そんな感じになっていると思う。ただ、集約していくのは大変難しいので、どこまで収斂できるかこれから我々も努力するし、各国がそれなりにやっていかないと、全体としてこれだけ多くの項目をまとめるのは大変だという印象を持った。

（記者）高いレベルでの妥結と言ったが、明日のアメリカとのバイ会談では、関税の部分では隔たりが大きいと思うが、どう挑んでいくのか。

（副大臣）これについては、先週の日曜日の甘利大臣、官房長官、農林水産大臣とフローマンとのやり取りや安倍総理とバイデン副大統領とのやり取りの中で、我々としては譲

れない一線を示しているのです、それをベースにアメリカがどう考えるか、あるいはどういうやり取りをしていくのかということ。我々としては、譲れない部分は言うてあるので、そのことを踏まえて対応したい。

(記者) ニュージーランドとのバイ会談では、落としどころは見つかったのか。アメリカとの落としどころが見つかったからの結論となるのか。どういう状況か。

(副大臣) 具体的な交渉の内容は申し上げられないが、我々の基本方針としては、まずは日米で大きな方向性を共有したいと思っている。これまでも、我々が入る前はアメリカ中心で議論が進み、日本が参加してからはフローマン代表と甘利大臣が議論全体を引っ張ってきているので、その意味でも、日米で道筋をまずつけて、全体の年内妥結に向けて引き続き努力したいと思う。

(記者) まだ今日の段階では5項目の関税を撤廃するのかもしれないのかということについては合意できていないのか。

(副大臣) 中身については申し上げられない。もちろん、全体像を議論し、様々な意見交換をしているが、これからの交渉である。

(記者) 日米で道筋をつけていきたいとのことだが、一方で、譲れない部分は1ミリも譲れないと言っている。ということはアメリカに譲歩を求めていくということになるのか。そうしないと全体も動かないぞ、ということのメッセージなのか。

(副大臣) 物品の話、農水産物の話だけではないので、それ以外にも様々なルールの問題も含めて我々がアメリカに対して議論していることもあり、向こうも色々あるので、全体の中でどう考えるか。これは何度もアメリカに伝えてあり、今日も立ち話でフローマン代表と話したが、我々は国会決議があるので、いくら言われても国会決議を踏まえないと国会で承認されないのです、そのことはアメリカにぜひ理解してほしいということを伝えている。

(記者) アメリカとは明日からバイ会談ということで、実質2日少ししかないと思うが、時間的なリミットという観点で、今日バイ会談ができなかったことについて影響はあるか。

(副大臣) 交渉官レベルでは色々な交渉を並行的にずっとやっており、ルールについても今日の私の参加した法的・制度的事項を議論する中でも、アメリカの求めていることもあり、日本の求めていることもある。細かい法的な話であるが、それでも色々なところで方向性を出すべく、日米の議論をベースにしながら私も議論しているので、そういう意味では、全体として日米で協力しているというのは色々な場面であったと思う。それも含めて明日の朝しっかり議論し、方向性が出せればと思う。

(以上)